

根をはる 「温かみのある賢さ」を育むために

第1学年 学年通信
10月6日(金)第18号
下松市立末武中学校

道徳の時間 「思いやりの日々」 4つの視点 みんな

9月27日(水)の道徳の時間は、「思いやりの日々」という資料をもとに、話し合いました。この資料は、突然の病によって障がいをもつことになった妻の介護をすることになった主人公が、その介護の仕事に関心をもつようになり、会社を辞めホームヘルパーとして、働いていくというお話です。相手の人が本当に望んでいることは何か、本当の思いやりとは何かを深く考え、温かい人間愛の心で人と接しようとする意欲や態度を育てることができる教材です。

本授業は、障がいをもつ人と関わった主人公の気持ちを考えることをとおして、本当の思いやりとは何かを理解し、温かい人間愛を深め、だれに対しても思いやりの心をもってともに生きようとする心情を育てることをねらいとしています。

以下に授業後の生徒の感想を紹介します。

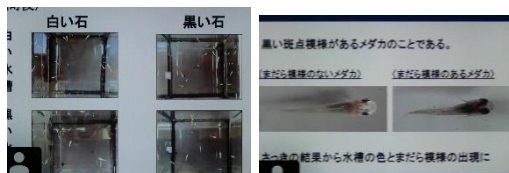
- 思いやりは、相手のやりたいことを受け止め、できることや気持ちを考えることが大切だと思った。ただ単に親切にするのではなく、相手の気持ちを考えて思いやるようにしたい。
- 思いやりは相手の気持ちが大切。何でもかんでもやるのもあまり良くない。相手の気持ちを尊重し、受け止めて、思いやるようにしたい。相手がやりたいことを無理に自分がしてあげない方がよい。
- 手伝ったり、やってあげたりするのはいいかもしれないけど、相手のしたいことを受け入れないのは、本当の思いやりではないかなと思いました。できる範囲でやらせてあげた方がよいと思いました。
- 本当の思いやりとは、その人が困っている、助けを求めている時に助けてあげることが本当の思いやりだと思いました。その人がしたいというのならその人のできることをさせてあげることが本当の思いやりだと思いました。



下松市中学校科学研究発表会

9月26日(火)6校時に、下松市中学校科学研究発表会が本校でオンラインにより開催されました。市内3校の代表がスライドによるプレゼンテーションを交え、わかりやすく研究の概要を発表しました。本校からは2年生の山門 洸さんが「水槽の色とメダカの模様との関係性」について発表しました。どの発表も素晴らしい内容のものでした。来年の自由研究の進め方を考えていく上で、とても大きなヒントをつかむことができました。以下に生徒の感想を紹介します。

- 各学校の代表の人たちは、1回の実験ではなく、何回も研究して、自分の予想が正しいのか、他に疑問はないかなど、とてもくわしく調べていました。私は来年、疑問に思ったことを調べるときは、調べてすぐ終わりではなく、結果から考察をして、そこからさらに不思議に思ったことを調べるなどして、さらに研究を深めていきたいです。



来週の子定

- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 短縮時程
地域貢献に関する講話
- 11日(水) 短縮時程 4校時まで
職員会議
- 12日(木) 平常時程
- 13日(金) 平常時程
地域学習発表会
(各クラス)